

# 運用報告書 (全体版)

第9期<決算日2022年9月15日>

## フロンティア・ワールド・インカム・ファンド (年1回決算型)

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／債券	
信託期間	2013年9月30日から2028年9月15日まで。	
運用方針	投資信託証券を主要投資対象として、長期的に安定した収益の確保と投資信託財産の成長を目指して運用を行います。	
主要投資対象	フロンティア・ワールド・インカム・ファンド (年1回決算型)	投資信託証券。
	フランクリン・テンプルトン・フロンティア・エマージング・マーケット・デット・ファンド	上場または非上場の新興諸国のソブリン債または準ソブリン債。
	国内短期公社債マザーファンド	本邦通貨建ての公社債。
運用方法	以下の投資信託証券を通じて、主として新興国の政府または政府機関等が発行する債券に実質的に投資を行い、長期的に安定した収益の確保と投資信託財産の成長を目指して運用を行います。 ケイマン諸島籍外国投資信託 フランクリン・テンプルトン・フロンティア・エマージング・マーケット・デット・ファンドの円建受益証券 内国証券投資信託 (親投資信託) 国内短期公社債マザーファンドの受益証券	
組入制限	フロンティア・ワールド・インカム・ファンド (年1回決算型)	投資信託証券および短期金融商品 (短期運用の有価証券を含みます。) 以外には投資を行いません。投資信託証券への投資割合には制限を設けません。外貨建資産への投資割合には制限を設けません。
	国内短期公社債マザーファンド	株式への投資は行いません。外貨建資産への投資は行いません。
分配方針	分配対象額の範囲は、繰越分を含めた経費控除後の利子・配当等収益と売買益 (評価益を含みます。) 等の全額とします。分配金額は、基準価額水準や市況動向等を勘案して委託者が決定します。ただし、分配対象額が少額の場合などには、分配を行わないことがあります。留保益の運用については、特に制限を設けず、運用の基本方針に基づいた運用を行います。	

受益者の皆さまへ

毎々格別のお引立てに預かり厚くお礼申し上げます。

さて、「フロンティア・ワールド・インカム・ファンド (年1回決算型)」は、2022年9月15日に第9期の決算を行いました。ここに、運用経過等をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

<運用報告書に関するお問い合わせ先>

コールセンター：0120-104-694

受付時間：営業日の午前9時から午後5時まで

お客さまのお取引内容につきましては、購入された販売会社にお問い合わせください。

アセットマネジメントOne 株式会社

東京都千代田区丸の内1-8-2

<http://www.am-one.co.jp/>

# フロンティア・ワールド・インカム・ファンド (年1回決算型)

## ■最近5期の運用実績

決算期	基準価額	基準価額			参考指数	参考指数		投資信託証券比率	純資産総額
		税込み	期騰落	中率		期騰落	中率		
5期 (2018年9月18日)	円 12,814	円 0	% △0.4		20,991.03	% △2.6	% 96.0	百万円 883	
6期 (2019年9月17日)	13,470	0	5.1		22,847.01	8.8	96.6	800	
7期 (2020年9月15日)	13,411	0	△0.4		23,123.17	1.2	96.2	748	
8期 (2021年9月15日)	14,783	0	10.2		25,065.02	8.4	96.7	586	
9期 (2022年9月15日)	15,966	0	8.0		25,593.97	2.1	96.5	578	

(注1) 「投資信託受益証券組入比率」にはマザーファンドの比率を含みません。

(注2) 参考指数は、JPMorgan エマージング マーケッツ ボンド インデックス グローバル ダイバーシファイド (円換算) です (以下同じ)。

(注3) 同指数は、JPMorgan エマージング マーケッツ ボンド インデックス グローバル ダイバーシファイドの米ドル建指数をアセットマネジメントOneが円換算して指数化したものです (以下同じ)。

(注4) JPMorganは、「JPMorgan EMBI Global Diversified (JPMorgan エマージング マーケッツ ボンド インデックス グローバル ダイバーシファイド)」が参照される可能性のある、または販売奨励の目的でJPMorgan EMBI Global Diversifiedが使用される可能性のあるいかなる商品についても、出資、保証、または奨励するものではありません。JP Morganは、証券投資全般もしくは本商品そのものへの投資の適否、またはJPMorgan EMBI Global Diversifiedが債券市場一般のパフォーマンスに連動する能力に関して、何ら明示または黙示に、表明または保証するものではありません。JPMorganは、JPMorgan Chase & Coならびに全世界の同社の子会社および関連会社のマーケティングネームです (以下同じ)。

Copyright 2006 JPMorgan Chase & Co. All rights reserved.

(注5) △ (白三角) はマイナスを意味しています (以下同じ)。

## ■当期中の基準価額と市況の推移

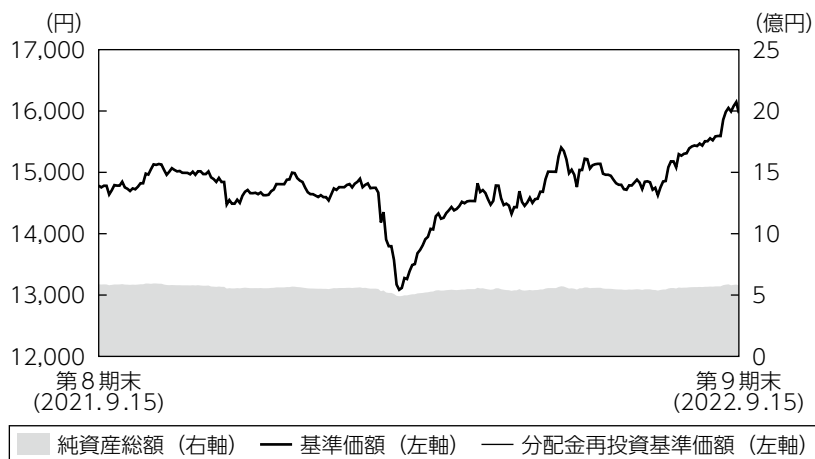
年月日	基準価額		参考指数	参考指数		投資信託証券比率
	騰落率	騰落率		騰落率	騰落率	
(期首) 2021年9月15日	円 14,783	% -	25,065.02	% -	% 96.7	
9月末	14,847	0.4	25,010.39	△0.2	96.8	
10月末	15,016	1.6	25,368.23	1.2	97.8	
11月末	14,548	△1.6	24,876.48	△0.8	97.3	
12月末	14,880	0.7	25,502.04	1.7	96.6	
2022年1月末	14,714	△0.5	24,855.90	△0.8	97.7	
2月末	14,352	△2.9	23,794.69	△5.1	98.3	
3月末	14,244	△3.6	24,535.29	△2.1	97.0	
4月末	14,535	△1.7	24,463.12	△2.4	97.3	
5月末	14,683	△0.7	24,194.49	△3.5	93.1	
6月末	15,139	2.4	24,259.50	△3.2	96.8	
7月末	14,717	△0.4	24,335.59	△2.9	96.2	
8月末	15,555	5.2	25,215.18	0.6	96.3	
(期末) 2022年9月15日	15,966	8.0	25,593.97	2.1	96.5	

(注1) 騰落率は期首比です。

(注2) 「投資信託受益証券組入比率」にはマザーファンドの比率を含みません。

## ■当期の運用経過（2021年9月16日から2022年9月15日まで）

### 基準価額等の推移



- (注1) 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- (注3) 分配金再投資基準価額は、期首の基準価額に合わせて指数化しています。
- (注4) 当ファンドはベンチマークを定めておりません。

### 基準価額の主な変動要因

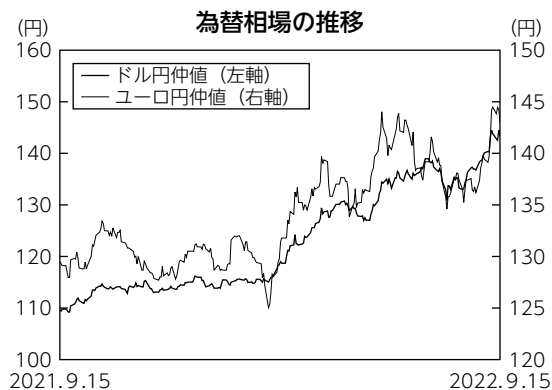
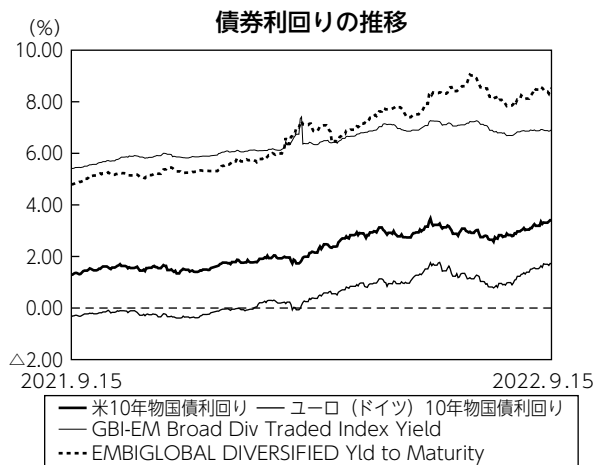
フランクリン・templton・フロンティア・エマージング・マーケット・デット・ファンドの円建受益証券（以下、ボンド・ファンド）を通じて、主として新興国の政府または政府機関などが発行する債券に実質的に投資した結果、エマージング債券市場は下落しましたが、為替市場が円安となったことから基準価額は上昇しました。

## 投資環境

エマージング債券市場は、世界的な景気の回復傾向を背景としたインフレ懸念の高まりを受けて、米国など先進国において金融引き締め政策への転換が意識されたことから、軟調な展開となりました。その後、ロシアがウクライナに侵攻し、地政学リスクが高まったことや米国で利上げが開始され、量的引き締めも行われるなど、F R B（米連邦準備理事会）の積極的な金融引き締め姿勢などを受けて、エマージング債券市場の軟調な動きは継続しました。

米国の金融政策の正常化へ向けた動きが意識され、米ドルが対円で底堅く推移するスタートとなりました。その後、F R B が積極的な利上げを継続する一方で、日銀は金融緩和姿勢を継続したことを背景に、日米金利差が拡大したことから、米ドル高円安の動きが強まりました。エマージング通貨は景気の回復期待のほか、米国同様、利上げを継続する国が多く、金利差拡大を背景に対円で上昇しました。

国内短期金融市場では、3ヵ月国庫短期証券利回りは日銀がマイナス金利政策を含む大規模な金融緩和政策を継続している影響により、マイナス圏で推移しました。



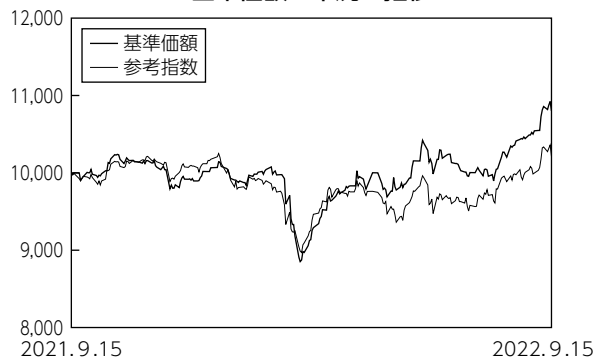
(注) 値は前営業日のものを用いております。

## ポートフォリオについて

### ●当ファンド

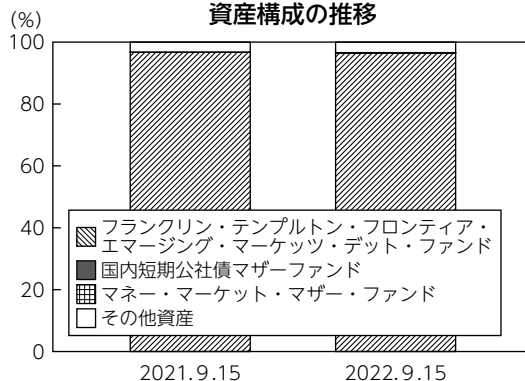
債券・ファンドへの投資配分については、資金動向や市場動向等を勘案して、期を通して高位としました。期中においてマネー・マーケット・マザーファンドが償還となったことから投資対象を国内短期公社債マザーファンドへ切り替えました。

基準価額と市況の推移



※第8期末を10,000とした指数で表示しております。

資産構成の推移



※比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

### ●債券・ファンド

新興国の政府または政府機関等が発行する債券を高位とし、長期的に安定した収益の確保を目的とした運用を行いました。新興国の経済状況、金融政策見通しや債券市況の動向を分析してポートフォリオの構築に努めました。期末時点における債券・ファンドの平均最終利回りは約9.2%、平均直接利回りは約7.0%、デュレーションは約4.8年、通貨配分は、米ドルを中心とした先進国通貨建て債券は約54%、エマージング通貨建て債券は約42%でした。

フランクリン・templton・フロンティア・エマージング・マーケット・デット・ファンドの基準価額の推移



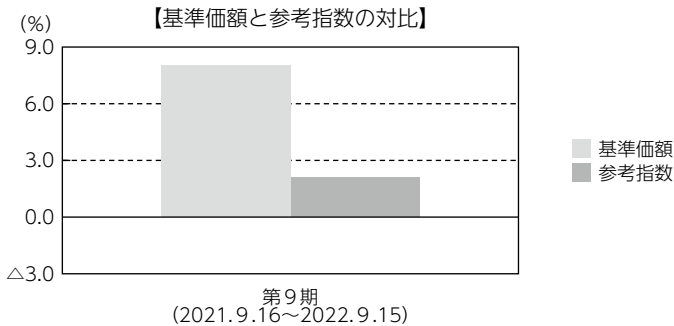
※基準価額は、当作成期間における分配金を再投資したものとみなして計算しています。

- マネー・マーケット・マザーファンド  
コールローン等で運用を行いました。

- 国内短期公社債マザーファンド  
コールローン等で運用を行いました。

## ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。  
グラフは、基準価額と参考指数の騰落率の対比です。



(注) 基準価額の騰落率は分配金 (税引前) 込みです。

## 分配金

収益分配金につきましてはファンドの商品性等を勘案し、無分配とさせていただきます。なお、収益分配金に充てなかった利益は信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

## ■分配原資の内訳 (1万口当たり)

項目	当期
	2021年9月16日 ~2022年9月15日
当期分配金 (税引前)	-円
対基準価額比率	-%
当期の収益	-円
当期の収益以外	-円
翌期繰越分配対象額	20,527円

(注1) 「当期の収益」および「当期の収益以外」は、小数点以下切捨てで算出しているためこれらを合計した額と「当期分配金 (税引前)」の額が一致しない場合があります。

(注2) 当期分配金の「対基準価額比率」は「当期分配金 (税引前)」の期末基準価額 (分配金込み) に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。また、小数点第3位を四捨五入しています。

(注3) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後・繰越欠損補填後の売買益 (含、評価益)」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「分配準備積立金」および「収益調整金」から分配に充当した金額です。

(注4) 投資信託の計理上、「翌期繰越分配対象額」は当該決算期末時点の基準価額を上回る場合がありますが、実際には基準価額を超える額の分配金をお支払いすることはありません。

## 今後の運用方針

### ●当ファンド

フロンティア・ワールド・インカム・ファンド（年1回決算型）では、資金動向や市場動向等に留意し、引き続きボンド・ファンドへの投資配分を高位に維持して、新興国の政府または政府機関等が発行する債券に実質的に投資することにより、長期的に安定した収益の確保と投資信託財産の成長を目指す方針です。また国内の短期金融市場動向に加え、資金繰りの状況等を勘案して、国内短期公社債マザーファンドの組み入れを適宜行う方針です。

### ●ボンド・ファンド

エマージング債券市場は、短期的にはボラティリティの高まる時期があるにせよ、横ばいの動きが予想され、世界のマクロ環境の落ち着きに伴い、再び力強い動きを取り戻し、過去2年半のコロナ禍から回復するプロセスが始まると考えています。こうした見通しの下、各国固有の状況等を考慮しながら積極的に投資機会を模索し、ポートフォリオを構築していく方針です。また、ロシア関連銘柄につきましては、モニタリングを続けながら売却のタイミングを計っていきます。

### ●国内短期公社債マザーファンド

日銀は消費者物価指数が前年比2%の上昇となる物価安定の目標達成に向け、引き続き緩和的な金融政策を継続していくと予想しています。そのため、今後も公社債などへの投資を通じて、安定的な運用を目指します。

## ■ 1万口当たりの費用明細

項目	第9期		項目の概要
	(2021年9月16日 ～2022年9月15日)		
	金額	比率	
(a) 信託報酬	171円	1.155%	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は14,769円です。
(投信会社)	( 68)	(0.462)	投信会社分は、信託財産の運用、運用報告書等各種書類の作成、基準価額の算出等の対価
(販売会社)	( 97)	(0.660)	販売会社分は、購入後の情報提供、交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価
(受託会社)	( 5)	(0.033)	受託会社分は、運用財産の保管・管理、投信会社からの運用指図の実行等の対価
(b) その他費用	0	0.003	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(監査費用)	( 0)	(0.003)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査にかかる費用
合計	171	1.158	

(注1) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。なお、その他費用は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

(注2) 金額欄は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

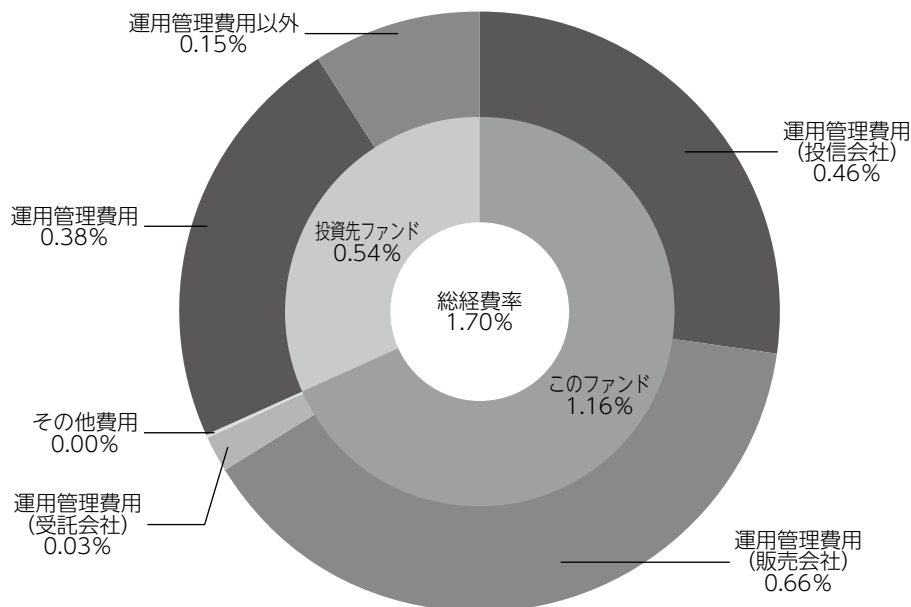
(注4) 各項目の費用は、このファンドが組入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）が支払った費用を含みません。



## (参考情報)

### ◆総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.70%です。



総経費率 (①+②+③)	1.70%
①このファンドの費用の比率	1.16%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.38%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.15%

(注1) ①の費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

(注4) 投資先ファンドとは、このファンドが組入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

(注5) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注6) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注7) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

## ■売買及び取引の状況 (2021年9月16日から2022年9月15日まで)

投資信託受益証券

		買 付		売 付	
		□ 数	金 額	□ 数	金 額
外国 邦貨 建		千□	千円	千□	千円
	フランクリン・templton・フロンティア・エマーシング・マーケット・デット・ファンド	31.6	59,213	16.7	31,035

(注) 金額は受渡代金です。

## ■親投資信託受益証券の設定、解約状況 (2021年9月16日から2022年9月15日まで)

	設 定		解 約	
	□ 数	金 額	□ 数	金 額
	千□	千円	千□	千円
マネー・マーケット・マザーファンド	—	—	490	499
国内短期公社債マザーファンド	494	498	—	—

## ■利害関係人との取引状況等 (2021年9月16日から2022年9月15日まで)

期中の利害関係人との取引等はありません。

(注) 利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

## ■組入資産の明細

(1) ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

フ ァ ン ド 名	期首(前期末)	当 期 末		
	□ 数	□ 数	評 価 額	比 率
	千□	千□	千円	%
フランクリン・templton・フロンティア・エマーシング・マーケット・デット・ファンド	280.2	295.1	558,624	96.5
合 計	280.2	295.1	558,624	96.5

(注) 比率欄は純資産総額に対する比率です。

(2) 親投資信託残高

	期 首 (前期末)	当 期 末	
	□ 数	□ 数	評 価 額
	千□	千□	千円
マネー・マーケット・マザーファンド	490	—	—
国内短期公社債マザーファンド	—	494	498

## ■投資信託財産の構成

2022年9月15日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
投資信託受益証券	558,624	95.1
国内短期公社債マザーファンド	498	0.1
コール・ローン等、その他	28,414	4.8
投資信託財産総額	587,537	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨ててあります。％は、小数点第2位を四捨五入しています。

## ■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2022年9月15日)現在

項 目	当 期 末
(A) 資 産	587,537,552円
コール・ローン等	28,414,968
投資信託受益証券(評価額)	558,624,300
国内短期公社債マザーファンド(評価額)	498,284
(B) 負 債	8,725,239
未 払 解 約 金	5,517,062
未 払 信 託 報 酬	3,200,142
そ の 他 未 払 費 用	8,035
(C) 純 資 産 総 額(A-B)	578,812,313
元 本	362,523,500
次 期 繰 越 損 益 金	216,288,813
(D) 受 益 権 総 口 数	362,523,500口
1万口当たり基準価額(C/D)	15,966円

(注) 期首における元本額は397,000,010円、当期中における追加設定元本額は15,140,634円、同解約元本額は49,617,144円です。

## ■損益の状況

当期 自 2021年9月16日 至 2022年9月15日

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	82,042,952円
受 取 配 当 金	82,045,628
支 払 利 息	△2,676
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	△32,533,189
売 買 損 益	4,242,798
売 買 損 益	△36,775,987
(C) 信 託 報 酬 等	△6,439,791
(D) 当 期 損 益 金(A+B+C)	43,069,972
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	56,829,274
(F) 追 加 信 託 差 損 益 金	116,389,567
(配 当 等 相 当 額)	(364,611,751)
(売 買 損 益 相 当 額)	(△248,222,184)
(G) 合 計(D+E+F)	216,288,813
次 期 繰 越 損 益 金(G)	216,288,813
追 加 信 託 差 損 益 金	116,389,567
(配 当 等 相 当 額)	(364,611,751)
(売 買 損 益 相 当 額)	(△248,222,184)
分 配 準 備 積 立 金	379,549,024
繰 越 損 益 金	△279,649,778

(注1) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) (C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注3) (F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注4) 分配金の計算過程

項 目	当 期
(a) 経費控除後の配当等収益	75,603,117円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0
(c) 収 益 調 整 金	364,611,751
(d) 分 配 準 備 積 立 金	303,945,907
(e) 当期分配対象額(a+b+c+d)	744,160,775
(f) 1万口当たり当期分配対象額	20,527.24
(g) 分 配 金	0
(h) 1万口当たり分配金	0

## ■分配金のお知らせ

収益分配金につきましてはファンドの商品性等を勘案し、無分配とさせていただきます。

## 《お知らせ》

### 約款変更のお知らせ

■投資対象の「マネー・マーケット・マザーファンド」を、余裕資金の運用という同じ目的の「国内短期公社債マザーファンド」に変更しました。

(2022年1月5日)

# フランクリン・templton・フロンティア・エマージング・ マーケッツ・デット・ファンド

当ファンドの仕組みは次のとおりです。

形態	ケイマン諸島籍外国投資信託／円建受益証券
運用方針	ファンドは、高いインカム利回りと長期的な元本の成長を目的として、上場または非上場の新興諸国のソブリン債または準ソブリン債に主として投資を行います。
主な投資制限	<ul style="list-style-type: none"> <li>・単一国の証券への投資は、純資産総額の20%を超えないものとします。</li> <li>・単一発行体の証券への投資は、純資産総額の10%を超えないものとします。ただし、現地通貨建ての国債、政府保証債は除きます。</li> <li>・クレジットリンク債への投資は、純資産総額の20%を超えないものとします。</li> <li>・発行体格付けにおいて、ムーディーズ・インベスターズ・サービスまたはS &amp; Pグローバル・レーティングのソブリン信用格付けがC a a 1またはC C C +以下の証券または無格付けの証券への投資は、純資産総額の10%を超えないものとします。</li> <li>・ファンドにおける証券の平均信用格付けは、ムーディーズ・インベスターズ・サービスまたはS &amp; Pグローバル・レーティングの格付けにおいてB 1またはB +以上とします。</li> <li>・ファンドにおける証券の平均デュレーションは、8年以下とします。</li> </ul>
信託期間	150年
決算日	毎年5月31日
信託報酬等	<p>運用報酬：純資産総額に対し0.40%</p> <p>その他報酬*：純資産総額に対し0.15%（上限）</p> <p>※その他報酬には、受託会社報酬、管理事務代行会社報酬、保管受託銀行報酬、監査報酬、法的費用が含まれます。</p>
信託設定日	2006年3月8日
関係法人	<p>受託会社兼管理事務代行会社：BNY メロン ファンド マネジメント（ケイマン）リミテッド</p> <p>副管理事務代行会社：ザバンク オブ ニューヨーク メロン シンガポール支店</p> <p>保管受託銀行：ザバンク オブ ニューヨーク メロン</p> <p>管理会社：フランクリン テンプルトン インターナショナル サービシーズ エス エー アール エル</p> <p>投資顧問会社：フランクリン テンプルトン インベストメント マネジメント リミテッド</p>

「フランクリン・templton・フロンティア・エマージング・マーケット・デット・ファンド」は、同ファンドの国籍において一般に公正妥当と認められる会計原則に準拠した財務諸表が作成され、現地監査人による監査を受けております。

なお、以下は入手しうる直近の現地監査済み財務諸表の原文の一部を委託会社が和訳したものでありますが、あくまで参考和訳であり正確性を保証するものではありません。

## (1) 損益計算書等

### 1. 包括利益計算書

2022年5月31日に終了した会計年度

	2022年 (日本円)
収益	
受取利息	4,661,852
為替差益純額	115,434,745
損益を通じて公正価値で測定する金融資産に係る公正価値の純変動額	456,189,933
純収益合計	<u>576,286,530</u>
費用	
運用報酬	69,401,530
受託会社報酬および管理事務代行会社報酬	18,777,987
保管受託銀行報酬	4,884,616
費用の払戻し	(4,523,092)
監査報酬	6,926,743
その他の営業費用	1,569,397
営業費用合計	<u>97,037,181</u>
税引前利益	479,249,349
源泉税	(14,580,315)
運用による受益証券保有者に帰属する純資産の増加額	<u>464,669,034</u>

### 2. 財政状態計算書

2022年5月31日現在

	2022年 (日本円)
資産	
流動資産	
純損益を通じて公正価値で測定する金融資産	13,785,685,489
現金および現金同等物	932,564,219
その他の債権	23,997,115
資産合計	<u>14,742,246,823</u>
負債	
流動負債	
未払費用	22,867,234
負債合計	<u>22,867,234</u>
受益証券保有者に帰属する純資産	<u>14,719,379,589</u>

## (2) 投資ポートフォリオ (無監査)

2022年5月31日終了会計年度

	公正価値 2022年 (日本円)		公正価値 2022年 (日本円)
<b>債券</b>		<b>エチオピア</b>	
アンゴラ		Federal Democratic Republic of Ethiopia 6.625% due 11/12/2024 REGS	284,872,788
Angolan Government International Bond 8.00% due 26/11/2029 REGS	373,796,272	エチオピア合計	284,872,788
Angolan Government International Bond 8.75% due 14/04/2032 REGS	74,060,733		
アンゴラ合計	447,857,005		
		<b>ジョージア</b>	
アルメニア		Georgian Treasury Bond 8.00% due 04/02/2023 REGS	52,286,151
Republic Of International Armenian Bond 3.60% due 02/02/2031 REGS	192,003,090	ジョージア合計	52,286,151
アルメニア合計	192,003,090		
		<b>ガーナ</b>	
アゼルバイジャン		Saderea DAC 12.50% due 30/11/2026 REGS	66,787,030
Southern Gas Corridor 6.875% due 24/03/2026 REGS	230,112,583	ガーナ合計	66,787,030
アゼルバイジャン合計	230,112,583		
		<b>ホンジュラス</b>	
ベラルーシ		Honduras Government International Bond 5.625% due 24/06/2030	162,442,918
Republic of Belarus International Bond 6.20% due 28/02/2030 REGS	36,477,510	ホンジュラス合計	162,442,918
Republic of Belarus Ministry of Finance 6.378% due 24/02/2031	49,873,408		
ベラルーシ合計	86,350,918		
		<b>インドネシア</b>	
ベナン		Republic of Indonesia 4.35% due 08/01/2027	67,020,188
Benin, Republik 4.875% due 19/01/2032	262,768,469	インドネシア合計	67,020,188
ベナン合計	262,768,469		
		<b>ジャマイカ</b>	
カメルーン		Government of Jamaica 7.875% due 28/07/2045	230,643,062
Republic of Camaroon International Bank 5.95% due 07/07/2032 REGS	185,152,065	ジャマイカ合計	230,643,062
カメルーン合計	185,152,065		
		<b>ヨルダン</b>	
コロンビア		Jordan Kingdom 6.125% due 29/01/2026 REGS	387,395,833
Bogota Distrito Capital 9.75% due 26/07/2028 REGS	449,619,438	ヨルダン合計	387,395,833
Empresa De Telecomunicaciones De Bogota SA 7.00% due 17/01/2023 REGS	425,919,617		
コロンビア合計	875,539,055		
		<b>カザフスタン</b>	
コスタリカ		Development Bank of Kazakhstan JSC 5.30% due 26/04/2023 REGS	262,839,281
Costa Rica Government International Bond 7.158% due 12/03/2045	210,246,526	Kazakhstan Government Bond - MEUKAM 5.00% due 15/05/2023	193,004,355
コスタリカ合計	210,246,526	Kazakhstan Government International Bond 4.875% due 14/10/2044 REGS	94,511,492
		Kazakhstan Temir Zholy Finance Bv 6.95% due 10/07/2042 REGS	226,441,491
		カザフスタン合計	776,796,619
		<b>ケニア</b>	
ドミニカ共和国		Kenya Infrastructure Bond 11.00% due 15/09/2025	185,259,896
Dominican Republic 6.40% due 05/06/2049 REGS	28,362,208	Kenya Infrastructure Bond 12.50% due 12/05/2025	240,225,895
Dominican Republic 8.90% due 15/02/2023 REGS	69,469,152	ケニア合計	425,485,791
Dominican Republic International Bond 9.75% due 05/06/2026 REGS	443,966,178		
ドミニカ共和国合計	541,797,538		
		<b>メキシコ</b>	
エジプト		Mexican Bonos 8.00% due 07/11/2047	506,829,899
Egypt Government Bond 13.659% due 07/09/2023 REGS	165,919,244	Mexico Government International Bond 2.659% due 24/05/2031	182,653,869
Egypt Government Bond 14.196% due 07/07/2023 REGS	200,162,562	Mexico Government International Bond 4.60% due 23/01/2046	159,842,501
Egypt Government International Bond 7.50% due 16/02/2061 REGS	99,080,008	Mexican Udibonos 4.00% due 30/11/2028	473,646,328
Egypt Government International Bond 7.625% due 29/05/2032 REGS	56,792,288	メキシコ合計	1,322,972,597
エジプト合計	521,954,102		

	公正価値 2022年 (日本円)
ナイジェリア	
BOI FINANCE BV 7.50% due 16/02/2027	159,111,620
ナイジェリア合計	<u>159,111,620</u>
パキスタン	
Pakistan 7.375% due on 08/04/2031	155,309,254
パキスタン合計	<u>155,309,254</u>
パラグアイ	
Rutas 2 and 7 Finance Ltd 0% due 30/09/2036 REGS	327,268,485
パラグアイ合計	<u>327,268,485</u>
ペルー	
Irsa Norte Finance Ltd 8.75% due 30/05/2024 REGS	102,472,559
Peru Government Bond 5.40% due 12/08/2034	192,344,800
ペルー合計	<u>294,817,359</u>
ルーマニア	
Romani 6.125% due 22/01/2044 REGS	508,080,700
ルーマニア合計	<u>508,080,700</u>
ロシア	
Russian Federation Bond 7.65% due 10/04/2030	58,390,596
Russian Foreign Bond 5.625% due 04/04/2042	19,650,328
ロシア合計	<u>78,040,924</u>
南アフリカ	
Government of South Africa 4.30% due 12/10/2028	611,531,085
Government of South Africa 7.00% due 28/02/2031	506,372,125
南アフリカ合計	<u>1,117,903,210</u>
国際機関	
Asian Infrastructure Investment Bank 17.50% due 14/09/2022	213,576,816
European Bank for Reconstruction & Development 6.45% due 13/12/2022	395,047,704
European Investment Bank 8.50% due 01/12/2023 REGS	173,359,197
Inter-American Development Bank 7.875% due 14/03/2023 REGS	196,533,987
国際機関合計	<u>978,517,704</u>
スリナム	
Government of Suriname 9.25% due 26/10/2026 REGS	187,660,917
Suriname Government International Bond 9.875% due 30/12/2023 REGS	207,099,640
スリナム合計	<u>394,760,557</u>
トリニダード・トバゴ	
Heritage Petroleum Co. Ltd 9.00% due 12/08/2029 REGS	474,108,523
トリニダード・トバゴ合計	<u>474,108,523</u>

	公正価値 2022年 (日本円)
トルコ	
Istanbul Metropolitan Municipality 10.75% due 12/04/2027	94,817,838
Turkey Government International Bond 5.95% due 15/01/2031 REGS	118,041,099
Ziraat Bank 5.375% due 02/03/2026	370,445,427
トルコ合計	<u>583,304,364</u>
ウクライナ	
ST Savings Bank 9.625% due 20/03/2025	65,945,990
Ukraine Government International Bond 7.375% due 25/09/2032	153,116,778
ウクライナ合計	<u>219,062,768</u>
ウルグアイ	
Uruguay Government International Bond 8.25% due 21/05/2031	193,675,234
Uruguay Republic of 3.70% due 26/06/2037 Index Linked	460,804,656
ウルグアイ合計	<u>654,479,890</u>
ウズベキスタン	
IPOTEKA Bank, ATIB 16.00% due 16/04/2024	215,148,352
Republic of Uzbekistan Bond 14.00% due 19/07/2024 REGS	83,298,852
Republic of Uzbekistan Bond 14.50% due 25/11/2023 REGS	139,570,294
ウズベキスタン合計	<u>438,017,498</u>
<b>債券合計</b>	<b><u>13,713,267,184</u></b>
<b>原油ワラント</b>	
ベネズエラ	
Venezuela Republic of WRD Exp 15/04/2020	72,418,305
ベネズエラ合計	<u>72,418,305</u>
<b>原油ワラント合計</b>	<b><u>72,418,305</u></b>
<b>投資ポートフォリオ</b>	<b><u>13,785,685,489</u></b>

(FRN) 変動利付債です。※  
(Index Linked) インフレ連動債です。※  
(REGS) Regulation Sの略。米国外での証券の募集に関して1990年に米証券取引委員会より定められた規制です。米国企業が米国外で募集した証券については当局での登録義務が免除されており、米国証券を購入する海外投資家の負担を軽減しています。※

※はアセットマネジメントOneにて追記



# 国内短期公社債マザーファンド 運用報告書

第13期（決算日 2021年11月1日）  
（計算期間 2020年11月3日～2021年11月1日）

国内短期公社債マザーファンドの第13期の運用状況をご報告申し上げます。

当ファンドの仕組みは次の通りです。

信託期間	原則、無期限です。
運用方針	主として本邦通貨建ての公社債に投資することにより、安定した収益の確保を目指した運用を行います。
主要投資対象	本邦通貨建ての公社債を主要投資対象とします。
主な組入制限	株式への投資は行いません。外貨建資産への投資は行いません。

## ■最近3期の運用実績

決算期	基準価額	期騰落中率		債券組入比率	債券先物比率	純資産額
		期騰	落中率			
11期(2019年10月31日)	円 10,069	% △0.1	% 68.3	% -	百万円 147	
12期(2020年11月2日)	10,069	0.0	69.7	-	77	
13期(2021年11月1日)	10,068	△0.0	-	-	77	

(注1) 債券先物比率は、買建比率-売建比率です。

(注2) 当ファンドのコンセプトに適した指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を定めておりません。

(注3) △（白三角）はマイナスを意味しています（以下同じ）。

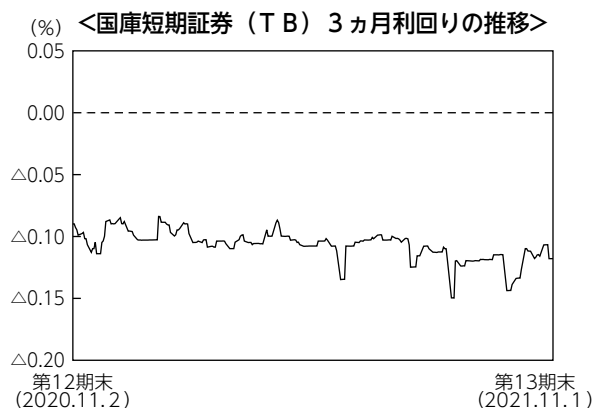
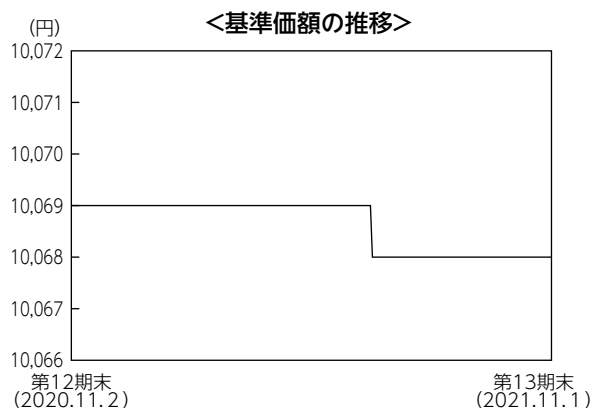
## ■当期中の基準価額の推移

年 月 日	基 準 価 額	騰 落 率	債 組 入 比 率	債 先 物 比 率
(期 首) 2020年11月2日	10,069	—	69.7	—
11 月 末	10,069	0.0	69.6	—
12 月 末	10,069	0.0	69.5	—
2021年1 月 末	10,069	0.0	69.5	—
2 月 末	10,069	0.0	69.4	—
3 月 末	10,069	0.0	—	—
4 月 末	10,069	0.0	—	—
5 月 末	10,069	0.0	—	—
6 月 末	10,068	△0.0	—	—
7 月 末	10,068	△0.0	—	—
8 月 末	10,068	△0.0	—	—
9 月 末	10,068	△0.0	—	—
10 月 末	10,068	△0.0	—	—
(期 末) 2021年11月1日	10,068	△0.0	—	—

(注1) 騰落率は期首比です。

(注2) 債券先物比率は、買建比率－売建比率です。

## ■当期の運用経過（2020年11月3日から2021年11月1日まで）



※国庫短期証券（TB）3ヵ月利回りの低下は価格の上昇を示し、逆の場合は下落したことを示します。

### 基準価額の推移

当ファンドの基準価額は1万口あたり10,068円となり、前期末の同10,069円から0.01%下落しました。

### 基準価額の主な変動要因

基準価額の変動要因として、保有債券からの利息収入などのプラス要因はありましたが、マイナス金利による影響が大きく、前期末比で基準価額は下落しました。

### 投資環境

国内短期金融市場では、3ヵ月国庫短期証券利回りは日銀の金融緩和政策の影響からマイナス圏で推移しました。日銀が大規模な金融緩和政策を続けており、国債利回りに低下圧力ががかかっていることが要因となりました。

### ポートフォリオについて

残存期間の短い地方債などで運用を行いました。

### 今後の運用方針

日銀は消費者物価指数が前年比2%の上昇となる物価安定の目標達成に向け、引き続き緩和的な金融政策を継続していくと予想しています。そのため、今後も安定的な運用を目指し、公社債などへの投資につとめます。

## ■ 1万口当たりの費用明細

計算期間中に発生した費用はありません。

## ■ 売買及び取引の状況 (2020年11月3日から2021年11月1日まで)

公社債

		買付額	売付額
国	内	千円	千円
	地方債証券	—	— (54,000)

(注1) 金額は受渡代金です(経過利子分は含まれておりません)。

(注2) ( )内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。

## ■ 利害関係人との取引状況等 (2020年11月3日から2021年11月1日まで)

期中の利害関係人との取引等はありません。

(注) 利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

## ■ 組入資産の明細

2021年11月1日現在、有価証券等の組入れはございません。

## ■ 投資信託財産の構成

2021年11月1日現在

項目	当	期	末
	評価額	比	率
コール・ローン等、その他	千円 77,882		% 100.0
投資信託財産総額	77,882		100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨ててあります。％は、小数点第2位を四捨五入しています。

## ■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2021年11月1日)現在

項 目	当 期 末
(A) 資 産	77,882,674円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	77,882,674
(B) 負 債	-
(C) 純 資 産 総 額(A-B)	77,882,674
元 本	77,357,362
次 期 繰 越 損 益 金	525,312
(D) 受 益 権 総 口 数	77,357,362口
1 万 口 当 た り 基 準 価 額(C/D)	10,068円

(注1) 期首元本額 77,357,362円  
 追加設定元本額 0円  
 一部解約元本額 0円

(注2) 期末における元本の内訳

ハイブリッド証券ファンド円コース	27,208,015円
ハイブリッド証券ファンド米ドルコース	3,391,713円
ハイブリッド証券ファンド豪ドルコース	4,489,701円
ハイブリッド証券ファンドブラジルリアルコース	16,175,679円
ハイブリッド証券ファンドロシアルーブルコース	2,324,574円
ハイブリッド証券ファンドインドルピーコース	2,228,133円
ハイブリッド証券ファンド中国元コース	1,130,574円
ハイブリッド証券ファンド南アフリカランドコース	236,700円
ハイブリッド証券ファンドメキシコペソコース	8,032,854円
ハイブリッド証券ファンドトルコリラコース	1,090,474円
ハイブリッド証券ファンドマネープールファンド	955,242円
新光グローバル・ハイイールド債券ファンド円コース	1,392,481円
新光グローバル・ハイイールド債券ファンド米ドルコース	99,759円
新光グローバル・ハイイールド債券ファンド豪ドルコース	1,193,555円
新光グローバル・ハイイールド債券ファンドブラジルリアルコース	6,365,626円
新光グローバル・ハイイールド債券ファンドマネープールファンド	943,105円
新光グローバル・ハイイールド債券ファンド(年1回決算型)	99,177円
期末元本合計	77,357,362円

## ■損益の状況

当期 自2020年11月3日 至2021年11月1日

項 目	当 期
(A) 受 取 利 息 等 収 益	266,731円
受 取 利 息	276,116
支 払 利 息	△9,385
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	△273,037
売 買 損	△273,037
(C) 当 期 損 益 金(A+B)	△6,306
(D) 前 期 繰 越 損 益 金	531,618
(E) 合 計(C+D)	525,312
次 期 繰 越 損 益 金(E)	525,312

(注) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。